

EA/01LR-1

ROTEX

品番：RP7220S

取扱説明書

このたびは本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用になる前に取扱説明書（本書）及び、安全上の注意をよく読んで
正しくお使いください。

セット明細

・ R 4 0 7 C ・ R 4 0 4 A マニホールドゲージ（ボールバルブ）	1
・ ハイプレッシャーホース 1 0 0 c m U N F 7 / 1 6 ”（青）	1
・ ハイプレッシャーホース 1 0 0 c m U N F 7 / 1 6 ”（黄）	1
・ ハイプレッシャーホース 1 0 0 c m U N F 7 / 1 6 ”（赤）	1
・ R 4 0 7 C ・ R 4 0 4 A コントロールバルブ	2
・ マニホールドケース	1

使用方法

真空引き作業

1. マニホールドゲージにチャージングホース（ストレート側）を接続してください。
2. マニホールドゲージの全てのバルブは閉（OFF）じてください。
3. コントロールバルブを付けた高圧側（赤）のホースと低圧側（青）のホースをエアコンの各ポートに接続し、エアコンのサービスバルブ及び、コントロールバルブを開いてください。
4. 中央のホース（黄）にコントロールバルブを付けて、真空ポンプに接続してからコントロールバルブを開いてください。
5. マニホールドゲージの全てのバルブを開（ON）いてください。
6. 真空ポンプを始動して、真空引きを始めてください。
7. 高圧側、低圧側のバルブを閉（OFF）じて、真空ポンプを停止してください。（リークテスト）
8. リークテストで異常がなければ、真空引き作業は完了です。

※真空ポンプは電磁弁付き、または真空ポンプアダプタの使用をお勧めします。
（真空ポンプオイルの逆流を防止するため）

冷媒充填作業

1. コントロールバルブを閉じてから、中央のホース（黄）を冷媒供給ポンベに接続し、スケールにのせてください。
（充填量はサービスマニュアルに従ってください。）
2. 高圧側、低圧側のバルブを閉（OFF）じてください。
3. コントロールバルブの接続部をほんの少しゆるめて、冷媒供給ポンベの

バルブをゆっくり開いてください。シュッと音がして、エアパージが完了したら接続部をしっかりと締め付けてください。それから、冷媒供給ポンベのバルブを完全に開いてください。

4. マニホールドゲージの高圧側バルブを開（ON）いてから、コントロールバルブを開いて、冷媒を充填してください。
（過充填にならないようスケールの表示に注意してください。）
5. 規定量の冷媒が充填されたら、冷媒供給ポンベのバルブを閉じてください。次にホース内に残った冷媒を吸い込ませるため、高圧側コントロールバルブを閉じ、低圧側バルブを1/4開にして、ルームエアコンを短時間運転してとめてください。
6. 規定量の冷媒が充填される前に、エアコンと冷媒の圧力が均圧すると冷媒の移動が停止します。その時は、高圧側コントロールバルブを閉じ、低圧側バルブを少し開いて、エアコンを運転して、残りの冷媒を吸い込ませてください。
7. 冷媒の充填が完了したら、高圧側、低圧側のバルブとコントロールバルブを閉じ、エアコンのサービスバルブを閉じてから各ホースを取り外してください。（中央のホース内に多少の圧力あり、十分注意してください。）

冷媒回収作業

1. マニホールドゲージの高圧側、低圧側バルブの閉（OFF）じていることを確認してください。
2. 高圧側（赤）、低圧側（青）のホースをエアコンの各ポートに接続してください。
3. エアコンのサービスバルブを開いて、ゲージを見て、圧力があることを確認してください。（圧力がない時はエアコン内に冷媒がありません。回収を中止してください。）
4. 中央のホース（黄）をフルオロカーボン回収装置に接続してください。
5. マニホールドゲージの高圧側、低圧側バルブを開（ON）いてから、フルオロカーボン回収装置を運転してください。
6. マニホールドゲージの表示が0MPa以下になったら、回収は完了です。
7. 高圧側、低圧側のバルブを閉（OFF）じ、エアコンのサービスバルブを閉じてから各ホースを取り外してください。

ロテックス

〒152-0003

東京都目黒区碑文谷6丁目9番17号

tel 03-3710-3063

fax 03-3710-3947

E-mail rotex@pop21.odn.ne.jp

FA10LR-1

▲注意

取扱説明書をよくお読みください。

- 傷害事故防止のため運転前、取扱い説明書をよく読み理解して正しく取り扱ってください。

▲警告

こんな時は作業しないでください。

- 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時。
- 酒を飲んだ時。
- 妊娠している時。

▲注意

運転中は監視できる範囲内で作業を行ってください。

- 周囲の安全を確認し、作業を行ってください。

▲注意

付属品及び修理部品は指定されたものをお使いください。

- 機械の故障の原因や接続不良を起し、傷害事故の原因になります。

▲警告

作業に適した服装をしてください。

- 作業時は安全靴、ヘルメット、防護眼鏡、防護服、皮手袋等を着用してください。
- 冷媒に触れると、凍傷、失明の恐れがあります。

▲警告

閉所作業の場合、換気等に十分注意してください。

- 酸欠事故や、中毒事故の原因となることがあります。

▲注意

ホースを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、はさみ込んだりしないでください。

- ホースが破損し、冷媒が噴射して傷害事故の原因になります。

▲注意

ホース等の接続は確実に行ってください。

- ホース等の接続部分がゆるむか、外れて、冷媒が噴射し、傷害事故の原因になることがあります。
- 冷媒で凍傷になる恐れがあります。

▲注意

機械の目的外使用及び改造は絶対に行わないでください。

- 指定の冷媒以外の使用は避けてください。
- 機械の故障、事故によるけがをまねく恐れがあります。

▲警告

ご使用前にホース及びバックシムに、損傷、亀裂がないかを確認してください。

- 損傷、亀裂があると、爆発の恐れがあります。

▲警告

冷凍空調機器及び冷媒をよく理解されている方が操作を行ってください。

- けがや事故の原因となることがあります。

▲警告

40℃以上でのご使用は絶対に行わないでください。

- 冷媒は高圧ガスですので、高温下では爆発の恐れがあります。